

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利活動法人スウィング

訪問調査日: 2012年12月25日(火)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款や法人リーフレット、ニュースレターに明確に示されており、ホームページでも広く公開されている。非営利組織としての位置付けが定款・リーフレット、決算報告書からも確認できる。組織ミッションを達成するための公益的基幹事業として、障害者自立支援法に基づいた「生活介護事業」や「就労支援B型事業」等が円滑に運営されている。	20/24 達成率 83%
	[2]組織ミッションと事業の策定	短期・中期・長期にかかるスウィング「事業計画」において策定されている状況が確認できる。単年度事業計画は、また、事業計画は、職員会議を通じて、合意形成を図りながら策定されている状況を聞き取ることができる。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	定款に基づき、理事会および最高意思決定機関としての総会が適切に開催されている状況を議事録からも確認できる。運営上必要となるコンプライアンスの把握や法人内周知、研修への参加等の取組みが見受けられる。法人の経営環境は理事会で適切に把握・管理されており、顧問税理士による会計作業、監事による内部監査が行われている。	30/43 達成率 70%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	一定程度数値目標をもった経営計画書が確認できる。収入の大部分は制度事業収入が占めているが、会費や寄付等による収入の実績も確認できる。納税等は納税証明書からも適切に行われている状況が確認できる。	
	[3]職員と労働環境	就業規則・給与規定・業務分担表等、必要な規定が整備されている。法定福利厚生外の取組みが見受けられる。雇用形態別に就業規則を整備し、適切な労働環境の構築に努めている。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	月曜～金曜(8:30～17:30)の事務所機能は明確であり、決められた時間帯において、いつでも電話・来所対応が可能になっている。登記事項の更新、所轄庁への報告等、必要な手続行われており、事務局に保管されている状況が確認できる。	25/31 達成率 81%
	[2]会計全般	経理に関する管理規定は「お金に関するルール」を策定しており、ルールに沿って適切に処理が行われている状況を聞き取ることができる。必要に応じて、顧問税理士のアドバイスを受ける体制がある。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	単年度事業計画に基づく事業の推進状況が見受けられる。事業の執行状況等は、ホームページ「イベントカレンダー」でも公開し報告している。「提案しま書」作成・提出の手順を踏んで、決裁ルールとしている状況は確認できるが、運用に課題が見受けられる。その他、「振り返りシート」を用いて、適切に事業の評価が行われている。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	「ボランティア受入れの流れ」で受入れ状況が確認できる。立命館大学の学生による学生ジョブコーチ支援が継続的に行われている。法人顧問である株式会社天下一品商事木村社長から敷地建物の無償貸与を受ける他、同社グループで作業所製品の販売協力を得ている。	15/16 達成率 94%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	法人リーフレット、ホームページ等で、組織の基礎情報を公開し、事業報告等フロー情報に関しても適切に更新し、公開に努めている。	15/18 達成率 83%
	[2]第三者による評価	2007年4月から法定事業所としての認可を受け、活動している。京都新聞をはじめ、多様なメディアによって紹介された状況が確認できる。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	重要書類は施錠できる棚で保管し、デジタルデータについて規定はないが、バックアップ・ウイルスソフトで管理している。個人情報の保護に関する規定は確認できない。緊急時の対応については、「緊急時マニュアル」を作成し、スタッフおよび利用者にも周知している。	12/18 達成率 67%
	[2]組織の社会的責任の追求	福祉サービスの質の向上にむけて、評価調査者としても活動している。毎月1～2回京都市内の清掃活動「ゴミコロリ」を多様な団体と一緒に活動している。	
【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】 本法人は、障害者自立支援法に則り、障害福祉サービスを提供する事業所ですが、「障害福祉」という枠組みに捉われない様々な取り組みを展開しています。具体的には地域の清掃活動「ゴミコロリ」、芸術創作活動「オレたちひょうげん族」、京都人力交通案内「アナタの行き先、教えます」等々です。 主な対象利用者である知的障害者の“障害”を、その人のただの一面として捉え、“障害”のあるなしを超えた「一市民」として、明るく楽しい取り組みを社会に向けて発信すること、対価を得られる“仕事”のみを“仕事”とせず、対価は得られなくとも「一市民」として社会に参加・貢献する活動も重要な“仕事”として捉え実践すること、伝えなければ伝わらない、何より“発信”を続けることを大切にしています。事務所は、上賀茂神社(賀茂別雷神社)のほど近くの閑静な地域に立地し、また活動スタイルも「仕事、仕事！」ではないためか緩やかな雰囲気の中にあります。自由な活動スタンスは20名程度の小集団ならではと考えており、とりあえずは現在の活動スタンスを維持し、今後は、また高い利用者ニーズに応える為にも拠点となる事業所を1つ2つ増やしたいという思いがあります。「福祉」や「アート」や「障害」が特別なモノではなく、誰にとっても身近にある普通のコトと感ぜられる社会に、具体的な取り組みを通して変えてゆきたいと考えています。 本法人は、株式会社天下一品商事創業者の理解と支援を得て、2006年1月に設立し、障害者自立支援法に基づいた「生活介護事業」「就労支援B型事業」を基幹事業として実施するだけでなく、障害のある人のアート活動「オレたちひょうげん族」等、「NPOらしさ」を大切にしながら制度外事業(インフォーマルサービス)にも積極的に取り組んでおられることは高く評価できると考えます。 組織としての設立・成長、安定期を迎え、中長期計画の中でも事業所の拡大計画イメージをもたれていますが、課題として認識されている通り、それに並行した人材の育成と組織体制の構築が必要であると見受けられます。組織としての成長ビジョンを利用者ニーズに基づいて構築されますことを期待し、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。			117/150 総合達成率 78%